



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)首都高速道路(株)神奈川局開発計画	階数	地上10F
建設地	横浜市西区みなとみらい3丁目2番9号	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 竣工	評価の実施日	2021年1月15日
敷地面積	2,500 m ²	作成者	(株)UG都市建築
建築面積	1,631 m ²	確認日	2021年1月15日
延床面積	13,417 m ²	確認者	(株)UG都市建築

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 遮音性能、空調性能、空気環境、耐震・構造、情報設備、ビル管理、リサイクル材等の配慮を総合的に配慮している	その他 特になし	
Q1 室内環境 サッシ遮音性能、適切かつバランスの取れた設備、空気環境等に配慮	Q2 サービス性能 執務空間の総合環境、建物耐震性、設備の更新性等に配慮	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化等の敷地内環境に配慮
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 省水型機器、リサイクル材、再利用できるユニット部材やノンフロン系断熱の採用	LR3 敷地外環境 緑化、駐輪・駐車等配慮、光害対策等の配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



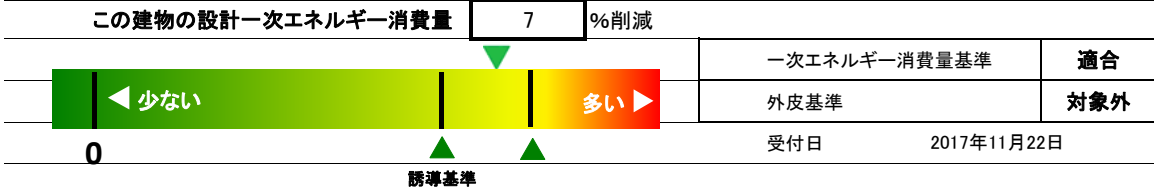
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)首都高速道路(株)神奈川局開発計画

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①省エネ基準を満たす外皮性能確保
- ②太陽光発電システム採用
- ③省エネ設備の採用
- ④運用管理体制の組織化、定期的な設備性能検証

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 4

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑨高断熱ガラス等の採用 ⑩東側カーテンウォール採用
- ⑪シックハウス対策全面的に配慮

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

- ⑫居室(執務室)環境に配慮
- ⑬リフレッシュスペースを設置

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

- ⑭緑化等で配慮

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 4

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑮免震構造採用
- ⑯再生可能なユニット部材採用
- ⑰設備に関する災害時バックアップ、耐震性能を確保

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

- ⑲建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部で配慮
- ⑳防犯性で配慮

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

— —

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)